

露地アスパラガスの土着天敵を温存する周辺植物

福島県農業総合センター 生産環境部作物保護科

1 部門名

野菜 - アスパラガス - 病害虫防除

2 担当者

荒川昭弘・三田村敏正

3 要旨

露地アスパラガス栽培での主要害虫であるネギアザミウマの土着天敵を調査した結果、アカメガシワクダアザミウマとヒメハナカメムシ類の発生が確認された(農業総合センター内ほ場、図1～3、写真1、2)。

周辺に植栽された植物の調査では、ソバ、ハゼリソウ、ブルーサルビア、オクラ、イワダレソウなどに寄生するヒラズハナアザミウマ(図1)などを餌としてアカメガシワクダアザミウマ(図2、写真1)とヒメハナカメムシ類が多数寄生していた(図3、写真2)。

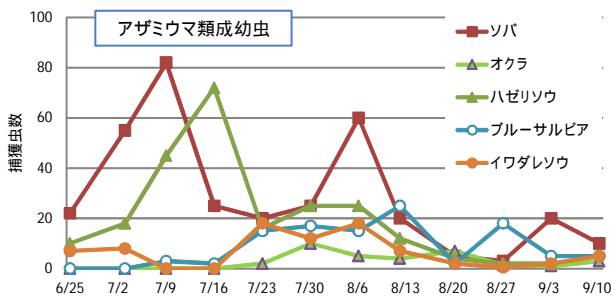


図1 アスパラガスの周辺作物でのアザミウマ類成虫の発生推移

各調査日の午前中に捕虫網ですくい取った。いずれの植物でもヒラズハナアザミウマ主体の発生であった。

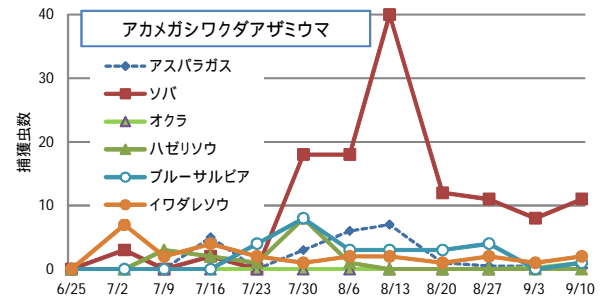


図2 アスパラガスおよびその周辺作物でのアカメガシワクダアザミウマ成虫の発生推移

各調査日の午前中に捕虫網ですくい取った。

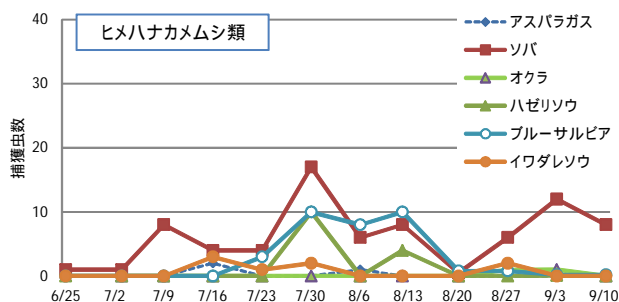


図3 アスパラガスおよびその周辺作物でのヒメハナカメムシ類成虫の発生推移

各調査日の午前中に捕虫網ですくい取った。



写真1 アカメガシワクダアザミウマ成虫



写真2 ヒメハナカメムシ類成虫

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～26年度
- (2) 研究課題名 天敵生物等を利用した化学合成農薬低減技術の開発
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成23、24年度センター試験成績概要

散布法

表 1 ハクサイダニ成虫に対する気門封鎖剤の効果（虫体に散布）
(2011年)

供試薬剤名（商品名）	希釈倍数	生存虫率 (%)	食害程度
脂肪酸グリセリド乳剤（サンクリスタル乳剤）	300	0	0
プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル乳剤 （アカリタッチ乳剤）	1000	0	0
オレイン酸ナトリウム液剤（オレート液剤）	100	0	0
無処理		100	3

3日後の生存頭数。供試頭数は各区成虫5頭とした。2反復。

薬剤は上部より十分量スプレー処理した。容器はメッシュでふたをし、10℃で保護した。

食害程度を3：50%以上、2：25～50%、1：1～25%、0：食害無しとして評価した。

葉片浸漬法

表 2 ハクサイダニ成虫に対する気門封鎖剤の効果（植物体に散布）
(2011年)

供試薬剤名（商品名）	希釈倍数	生存虫率 (%)	食害程度
脂肪酸グリセリド乳剤（サンクリスタル乳剤）	300	20	0
プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル乳剤 （アカリタッチ乳剤）	1000	30	1
オレイン酸ナトリウム液剤（オレート液剤）	100	30	1
デンプン液剤（粘着くん液剤）	100	100	1
無処理		100	3

3日後の生存頭数。供試頭数は各区成虫5頭とした。2反復。

ハクサイリーフディスクを薬液に浸漬後、風乾した。

容器はメッシュでふたをし、10℃で保護した。

食害程度を3：50%以上、2：25～50%、1：1～25%、0：食害無しとして評価した。